

ボックスカルバート敷設工法

ベアリング横引き工法

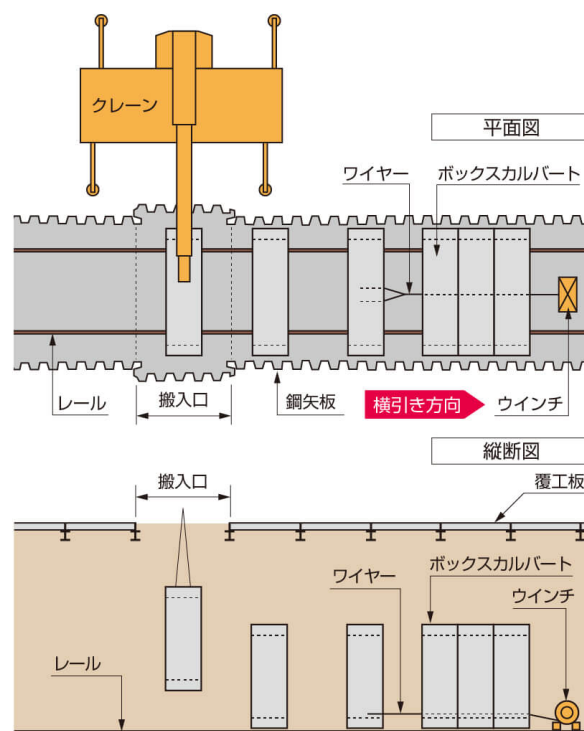
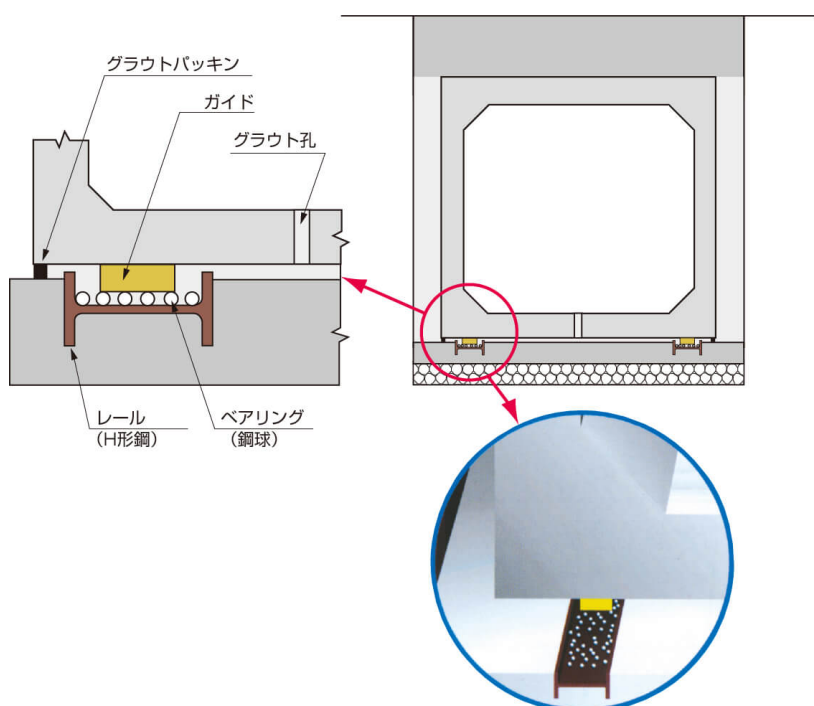
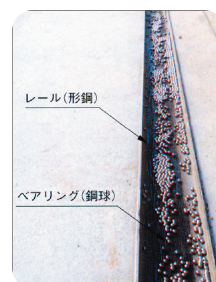
NETIS

No.KT-990571-V

掲載期間／2017年4月まで

特長

- ベアリング横引き工法とは、ボックスカルバートを所定の搬入口より吊りおろし、ベアリング（鋼球）とウインチによりレール（形鋼）に沿ってけん引して敷設する工法です。
- 従来工法に比べ掘削幅が小さくなるため、施工ヤードが狭くても円滑な敷設作業ができます。
- 搬入作業（クレーン作業）と敷設作業（横引き作業）が分離でき、急速施工が可能です。
- 覆工板を設置すれば、地下内での作業のみとなり、上部の交通が開放できます。
- おろし場所が1ヶ所ですむため、敷設に伴ってクレーンを移動させる必要がありません。
- 高架橋、電線等の上部障害物がある場所でも敷設作業が可能です。
- ボックスカルバートと基礎との摩擦が小さく、縦方向のPC緊張力が50%以下に低減できます。
- 従来工法に比べて、工費の低減、工期の短縮、安全性の向上がはかれます。
- 縦断勾配10%までの施工が可能です。



施工例



カーブ施工実験風景

